

## 《海事モード・水陸事業》

### 2022年度 安全目標

人身事故ゼロ、海難事故ゼロ、機関トラブルゼロ

### 2022年度 安全方針

1. 安全はすべてに優先  
安全がすべてに優先します。お客様の安全が阻害されないよう120%の安全確保に努めます。
2. 法令及び諸規則の順守  
法令及び諸規則の順守はもとより、良識を持って誠実に行動します。
3. 常に安全の維持・向上  
常に安全を維持・向上させるため、必要なチャレンジを惜しみません。
4. 自ら考える組織  
自ら考え、問題意識を持ち、問題を発見し解決し、成長発展することで、安全確保に全員で取り組みます。
5. 顧客を意識した事業活動  
お客様の立場にたって快適な事業を展開いたします。

### 目標達成のための安全重点施策

- ① 安全航行の徹底
  - ・ 運航管理者は、安全管理規程に定めた基準により運航を中止すべきと判断した場合において、船長、航海士に対して運航中止を指示するとともに、安全統括管理者を経由して経営トップへ連絡する。
- ② 危機管理体制、特に防災・減災に向けた取り組みの強化
  - ・ 安全装備を有効的に活用するための船員への教育指導を実施する。
  - ・ 万一の事態に備えた訓練を実施する(海保、警察、消防、自治体との合同訓練など)。
- ③ 管理者を含めた職員の安全や技術教育体制の充実による資質向上
  - ・ 事故処理基準や海難事故未然防止マニュアルを整備する。
  - ・ 「気象悪化に伴う海難事故」をゼロにします。
- ④ 安全・安心のための基本運転、動作の励行
  - ・ 「旅客の乗下船、転落等の人身事故」をゼロにします。
- ⑤ 情報伝達やコミュニケーション確保により、関係先と一体となった事故防止
  - ・ 安全・CSの集合教育や訓練実施等で船員への直接教育を行っていく。
- ⑥ 安全で快適な施設、整備の推進
  - ・ 点検・整備と共に、入念なチェックを実施し、船体・機関を良好な状態に維持します。
  - ・ 事業所や船舶美化推進のための定期的なチェックを実施する。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染防止対策の積極的且つ継続的な取組の推進
  - ・ 職場クラスターを発生させないための定期的な指導を実施する。
  - ・ 感染防止対策の積極的なPRを行う。

### 目標達成のための船舶事業における安全重点施策

- ① 事故を未然に防ぐための教育の強化
  - ・ 安全基本動作、重要な訓練内容などを動画で撮影し、営業所内で繰り返し流して視覚による安全意識の啓蒙を行う。
- ② 後退運転時の事故削減
  - ・ 教育研修、点呼において、後退操舵時の指導を重点的に行う。

